

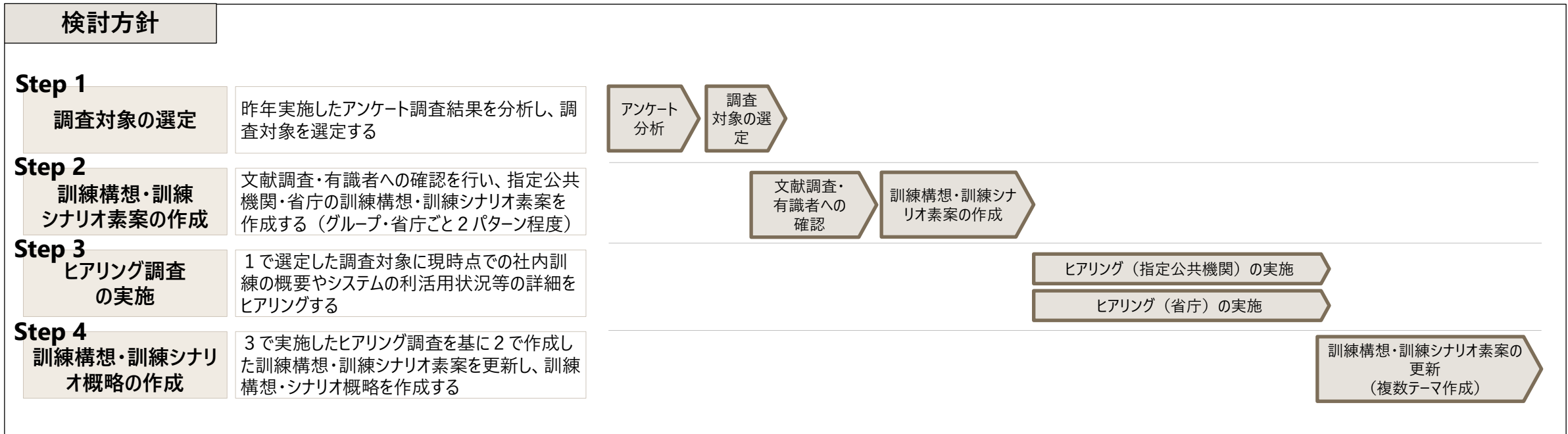
防災分野のデータ流通促進のための調査検討業務

指定公共機関等における新総合防災情報システム (SOBO-WEB) 利用促進に資する平時の訓練等に 関する調査検討

令和8年3月11日

1. 検討の全体方針

<p>経緯・概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 昨年度の検討では、災害対応機関（省庁・地方公共団体・指定公共機関）の防災情報システムの導入・活用状況のアンケート調査を行った。システムを活用した訓練を効果的に実施している都道府県にヒアリングを実施し、都道府県における新総合防災情報システム（SOBO-WEB）のデータを活用した訓練構想を作成した。 • 今年度の検討では、新総合防災情報システム（SOBO-WEB）のデータを活用した指定公共機関及び省庁の訓練構想及びシナリオ概略の作成にむけた調査検討を行う。 	<p>アウトプット</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 新総合防災情報システム（SOBO-WEB）を活用した指定公共機関の訓練構想及びシナリオ概略（約4グループごと2テーマ程度） • 新総合防災情報システム（SOBO-WEB）を活用した省庁の訓練構想及びシナリオ概略（約4省庁ごと2テーマ程度）
---------------------	---	----------------------	--



3. ヒアリング調査結果

3.1. 指定公共機関

- ヒアリング調査の結果、指定公共機関の訓練形態として、下記のようなパターンが事例として存在した。
 - ✓ 各社の社内で実施、業界団体が主催して実施する訓練に参加・複数社が連携して実施、地方自治体が主催して実施する訓練に参加
- 指定公共機関の訓練内容として、下記のようなパターンが事例として存在した。
 - ✓ 自社等の所管施設等の応急復旧等に関する訓練、行政機関等からの要請への対応に関する訓練
- 指定公共機関の訓練形式として、図上訓練及び実動訓練が事例として行われていた。

訓練の例

訓練形態（例）	訓練概要（例）
各社の社内で実施	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自社の所管施設等や被災地全体の被害状況の収集、自社の所管施設等の応急復旧や行政機関等からの要請への対応等の手順の確認等を訓練 ✓ 訓練形式は、図上訓練や実動訓練 等
業界団体が主催して実施する訓練に参加・複数社が連携して実施	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 同業の複数事業者での応援受援等に関わる情報収集・共有、連携した応急対応等の手順の確認等を訓練 ✓ 所管省庁が参画する事例も有 ✓ 訓練形式は、図上訓練 等
地方自治体が主催して実施する訓練に参加	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地方自治体の災害対策本部運営訓練等に参加し、ライフラインの臨時供給等の対応等を訓練 ✓ 全庁的な訓練項目の中での一分野として、訓練を実施 ✓ 訓練形式は、図上訓練 等

3.2. 省庁

- ヒアリング調査の結果、省庁の訓練形態として、下記のようなパターンが事例として存在した。
 - ✓ 各省内（地方支局含む）で実施、地方自治体が主催して実施する訓練に参加、関連業界事業者団体等と連携して実施
- 省庁の訓練内容として、下記のようなパターンが事例として存在した。
 - ✓ 省内の災害発生時の対応に関する訓練、所管分野の応急復旧や災害対応等に関する関係機関との連携訓練
- 省庁の訓練形式として、図上訓練及び実動訓練が事例として行われていた。

3. ヒアリング調査結果

3.3. 各機関の応急対策で有用な情報

- 自社の所管施設等の施設被害や所管する分野の情報は、各機関にて所有する当該分野独自の防災情報システム等で集約されていることが多い。
- 一方、被災地の全般的な被害（例：建物被害）や対応状況（例：避難所等）や、他分野のライフライン情報（例：電力事業者においては道路情報等）も、各機関の応急対策の検討の参考となる可能性が複数指摘された。
- 新総合防災情報システムでは、全国の任意の地域の情報を共通的に収集し、関係機関間で共有することも可能であり、複数分野のライフライン情報を一括して収集できることは、各機関の応急対策においても有用と考えられる。

3.4. まとめ

- 各機関で既に行われている訓練において、新総合防災情報システムによる情報収集を今後追加することで、各機関での情報処理・対応方針の判断の効率化や高度化等が図られるかに関して、次年度以降に詳細検討及び訓練の実証を進めていく。

4. 訓練構想の検討状況

4.1. 概要

- 前章のヒアリング調査結果に基づき、指定公共機関や省庁の訓練における新総合防災情報システムのデータの活用想定を、複数の指定公共機関グループ毎（類似種別）や省庁毎に検討し、訓練構想として検討を行っている。
- 訓練構想の内容として、「訓練概要」や「想定する訓練シナリオ」、「新総合防災情報システムから提供される訓練データ仕様」等を記載する想定である。

訓練構想の構成（案）

項目	記載内容（例）
訓練概要 （※各機関の既存訓練を基に整理）	✓ 訓練参加機関・参加者 ✓ 訓練形態 ✓ 訓練内容（対象災害、災害フェーズ、訓練目的） 等
想定する訓練シナリオ	✓ 訓練シナリオ（事態の推移、訓練参加者の対応等の概要） ✓ 訓練シナリオの中で、対応方針の判断に用いる新総合防災情報システムから提供されるデータ種別 等
新総合防災情報システムから提供される 訓練データ仕様	✓ 訓練シナリオの中で、新総合防災情報システムから提供されるデータ仕様の整理（情報項目、属性、提供タイミング） 等

4. 訓練構想の検討状況

4.2. 訓練構想 イメージ

訓練概要 (案)	訓練参加機関：複数の〇〇事業者 訓練形態：状況付与型の図上訓練 訓練内容：広域大規模災害の発生初期における対応 (初動対応から、事業者間での応援受援活動の方針の検討・判断 等)
----------	---

訓練シナリオ 概要 (案)

